

昭和肥料ニュース

FAX版



Vol. 046

梅雨から夏の土づくり

夏至を過ぎ日長のピークは過ぎましたが暑さはこれからが本番です。この時期は草刈り、虫対策、水管理、遮光作業などに忙しい時期ですが、土づくりを行う適期でもあります。

ミネラル補給と有用菌資材の使用をお勧めします

降水量が増える夏、近年は豪雨も増えており、特に露地作ではミネラルの流亡が心配です。失われやすいカリ、苦土、石灰（カルシウム）はバランスよく追肥するよう心掛けましょう。

これらのミネラルが不足したり、バランスが崩れると病気の発生が増え、重篤化しやすくなります。「秋彼岸あたりから病気がよく出る」場合は梅雨～秋口にかけてミネラル追肥を行い、作物を強健に保つことが大切です。

また、高温多湿な環境は、病気の原因となるカビ・細菌の繁殖を活発にします。そのため作物の元気がないと病気が出やすくなり要注意です。しかし、高温期の防除は薬剤を使う際の薬害リスクが高く、作業自体も大変です。そこで、カビが増えやすいこの時期こそ、カビ（有用菌）を使った資材「トリコン」の使用をお勧めします。トリコンは幅広いカビが原因の病害の予防、団粒化促進（排水・保水性の向上）に使用されており、薬剤の補完に最適です。

特にこれから施設栽培での太陽光消毒、土壌還元消毒を実施する前後には、以下の資材をお勧めします。（ご不明点あれば、お問い合わせください）

☆ひかりゴールドF

- 目的) 各ミネラルの補給 鉄による還元消毒力アップの相乗効果
- 施用量) 2aに1袋程度
- 施用時期) 土壌消毒前 米ぬかやフスマと一緒に施用する

☆トリコン

- 目的) 悪玉菌を抑える有用菌で病気を抑制 連作障害の再発軽減
- 施用量) 1aに1袋程度
- 施用時期) 土壌消毒後 散布し土壌に混和する
混和しない場合は表面散布後に灌水する（有用菌を染込ます）

定期修理の完了のお知らせ

先月からの工場の定期修理が完了しました。いつもの品質をお届けする準備完了です。オーダーお待ちしております！